



主要な農作物の生育情報

平成29年度 第6号

(平成29年9月7日)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水稻

農業総合センターの作柄解析試験では、本部（5月1日田植え）と浜地域研究所（5月10日田植え）の品種で出穂が平年より2日早まりましたが、それ以外の出穂期は概ね平年並でした。出穂後の日照不足、低温により登熟は緩慢であり、成熟期は平年より遅くなる見込みです。

病害虫防除所の8月下旬～9月上旬の調査では、穂首もちが中山間地や地域によっては平坦地でも確認されていますが、その発生程度は「微（少以下、発生穂率1%以下）」です。また、強風や降雨による倒伏が懸念されます。

表1 水稻主要品種の出穂期（本年値）と成熟期（平年値）

場 所	品 種	田植日 (月日)	出穂期			成熟期の 平年値 (月日)
			本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)	
本 部 (郡山)	コシヒカリ	5. 1	8. 5	8. 7	-2	9. 25
	天のつぶ	5. 1	7. 31	8. 1	-1	9. 13
	ひとめぼれ	5. 1	7. 29	7. 31	-2	9. 10
	コシヒカリ	5. 15	8. 11	8. 12	-1	9. 30
	天のつぶ	5. 15	8. 6	8. 5	+1	9. 21
	ひとめぼれ	5. 15	8. 4	8. 3	+1	9. 19
会津地域研究所 (会津坂下)	コシヒカリ	5. 19	8. 6	8. 6	±0	9. 20
	ひとめぼれ	5. 19	7. 31	8. 1	-1	9. 11
浜地域研究所 (相馬)	コシヒカリ	5. 10	8. 8	8. 9	-1	9. 26
	ひとめぼれ	5. 10	7. 31	8. 2	-2	9. 12

※ 農業総合センター作柄解析試験。平年は前5カ年の平均値。

2 大豆

農業総合センターの作柄解析試験では、本部の開花期は平年より早まり、他の開花期は平年並でした。草丈、主茎節数は平年並から上回っています。莢の肥大はやや緩慢です。草丈が伸びているほ場では倒伏が懸念されます。

●農業総合センター作況試験の調査結果はこちらも参考にしてください。

http://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/nougyou-centre/sakkyou_index.htm

【野菜】

1 きゅうり

抑制栽培の定植は、平年並の7月中下旬から8月上旬にかけて行われ、収穫は平年並の8月中旬から始まりました。全体的に概ね良好に生育しており、今後収穫量の増加が見込まれます。

露地栽培は、日照不足・低温の影響により収穫量が減少したほ場が多く見られましたが、天候の回復や摘果等の草勢維持管理作業により、ほ場によって新芽の伸長や雌花の開花など草勢の回復が見られます。

病害虫は、ほ場により炭そ病、褐斑病、つる枯病が発生しています。

2 夏秋トマト

日照不足・低温の影響により収穫まで時間を要していましたが、天候の回復により多くのほ場で回復傾向です。

病害虫は、ほ場により灰色かび病、葉かび病が発生しています。

3 さやいんげん

7月播種の作型の生育は、日照不足・低温の影響により草勢が低下したほ場は見られましたが、概ね良好に生育し、現在収穫期を迎えています。

4 夏秋ピーマン

日照不足・低温の影響により収穫量が減少したほ場が多く見られましたが、天候の回復によりほ場によっては新芽の伸長など草勢の回復が見られます。

病害虫では、ほ場により灰色かび病、斑点病が発生しています。

【果 樹】（9月1日現在：農業総合センター果樹研究所）

1 もも

「川中島白桃」の収穫始期は8月17日、収穫盛期は8月19日で平年より7～8日早まりました。果実の大きさは473gと平年よりかなり大きく、RM示度（糖度）は13.6と平年より高くなりました。「ゆうぞら」の収穫始期は8月24日、収穫盛期は8月27日で平年より7～8日早まりました。果実の大きさは373gと平年より大きく、RM示度は11.8と平年より低くなりました。

2 なし

果実肥大は暦日比較では、「豊水」は縦径106%、横径106%と平年よりやや大きく、満開後日数による比較においても平年よりやや大きい状況です。「幸水」の収穫始期は8月25日で平年並でした。RM示度は11.0で平年より低くなりました。

3 りんご

果実肥大は暦日比較では、「ふじ」は縦径100%、横径101%と平年並であり、満開後日数による比較においても平年並の状況です。「つがる」の収穫始期は、8月28日で平年並となっています。

【花 き】

1 コギク

9月咲きでは、日照不足や低温の影響により地域や品種によっては、平年と比較してやや遅れがみられます。10月咲きについては、草丈や節数で平年値をやや下回っていますが生育は順調です。病害虫は、一部で斑点細菌病の発生がみられ、アブラムシ類やハダニ類、オオタバコガの発生が増加しています。

2 リンドウ

彼岸需要期向けの中晩生品種については、草丈や節数は開花期とも概ね平年並で、徐々に開花も始まっており、今後、平坦部から本格的な出荷となる見込みです。病害虫は、葉枯病や褐斑病の発生が多くなっており、一部では黒斑病の発生もみられます。また、リンドウホソハマキの発生が継続しており、ハダニ類の発生も増えています。

3 トルコギキョウ

抑制の9月～10月咲きの生育は、ほぼ平年並みからやや遅れており、日照不足の影響によるブラッシングの発生により品質低下がみられます。病害虫は、アザミウマ類やオオタバコガの発生がみられます。

4 宿根カスミソウ

会津地方の新植の出荷が始まっており、開花期については平年並みからやや遅れていますが、生育、出荷ともに概ね順調です。病害虫は、うどんこ病やカメムシ類の発生がみられます。

【飼料作物】

1 牧草

2番草の収穫が終わり、現在3番草の生育期を迎えています。2番草は7月中下旬収穫は収量や品質ともに平年並となりましたが、山間部の8月上中旬収穫は、降雨等の影響からやや遅れとなり品質の低下が見られます。

2 飼料用とうもろこし

今後、本格的な収穫期を迎え、病害虫の発生も見られますが、収量・品質ともに平年並となる見込みです。

3 稲WCS

8月下旬より収穫が開始され、現在収穫盛期を迎えています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

体調管理に十分留意し、農業機械の操作にも注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyouthou>